

## タイトル

学習障害を持つ性犯罪者に対する介入 (Interventions for learning disabled sex offenders)

## レビューワ

Ashman L と Duggan L

## 日付

編集日 2003年7月10日

前回の大きな更新 2002年1月25日

前回の小さな更新 2001年4月2日

期待される次の更新日

プロトコルの初版

レビューの初版 2002年2号

## レビューワへのコンタクト:

Lorraine LM Ashman 博士

専門訓練医 (Specialist Registrar)

Lifespan NHS Trust

Douglass House

18b Trumpington Road

Cambridge UK

CB2 2AH

電話: 01223 746110

Eメール: [lorraineashman@mail01.onetel.net.uk](mailto:lorraineashman@mail01.onetel.net.uk)

## 内部的資金援助元

Oxfordshire Learning Disability NHS Trust, UK

Lifespan NHS Trust, UK

St Andrew's Hospital, Billing Road, Northampton, UK

## 外部的資金援助元

なし

## レビューワの分担

Lorna Duggan – 元々の発想, プロトコル, 検索, データ収集, 報告書執筆

Lorraine Ashman – プロトコル, 検索, データ収集, 報告書執筆

## 謝辞

## 潜在的な利害の不一致

分からない

## 更新状況

### 日付

プロトコルの初版	2002年2月出版
レビューの初版	2002年1月25日
前回の大きな更新	2001年4月2日
前回の小さな更新	年 月 日
再構成後のレビュー	年 月 日
新しい研究を検索したが見つからなかった日	年 月 日
新しい研究が見つかったがレビューに含めるか未定	年 月 日
新しい研究が見つかり、レビューに含めた、あるいは除外した日	年 月 日
レビューワの結論の修正日	年 月 日
コメント・批判が加えられた日	年 月 日
コメント・批判への返答日	年 月 日

## 概要

性犯罪への関心は、世間でますます高まっている。世間では、コミュニティ内の性犯罪者に対して、より長期間の拘禁およびより密着した監視を求めている。現在、投薬治療やトーキング・セラピーなど、様々な処遇方法が用いられているが、その成功率に関してはあまり知られていない。少数グループである学習障害の性犯罪者は特別な難題をもたらしている。それは、犯罪者の理解力は貧弱であるということを説明するためにトーキング・セラピーを修正する必要があるのと同じことである。我々は、学習障害の性犯罪者の処遇につながる、無作為化比較実験のエビデンスを見つけることができなかった。

## 梗概

### 背景

性犯罪者の取り扱いは大きな社会的関心である。行動的介入および薬理的介入が長年使用されており、ごく最近では、認識行動に基づく介入が世界中で一般的になっている。一般集団に対して設計されたプログラムが、学習障害の性犯罪者の認識的欠陥の処遇のために修正されてきている。これらの修正プログラムの有効性は不透明である。

### 目的

学習障害の性犯罪者への介入の有効性を判断する。

### 探索手法

レビューは、EMBASE, PsycINFO, Medline, Cinahl, Cochrane Library, SPECTR, National Clearinghouse on Child Abuse and Neglect Information and National Criminal Justice Reference Service および Biological Abstracts といった電子情報を検索した。

### 選択基準

学習障害の性犯罪者のための介入と、その他の介入あるいは無介入を比較している全て無作為化比較実験。

### データ収集と分析

データはそれぞれ個別に収集した。

### 主な結果

無作為化比較実験を一つも識別できなかった。

### レビューの結論

上記の方法を用いたが、学習障害の性犯罪者に対する介入を用いる際の指針となる、無作為化比較実験のエビデンスを見つけれなかった。無作為化比較実験が緊急に必要となるまでは、学習障害を持たない性犯罪者についての無作為化比較実験からのエビデンス、あるいは学習障害の性犯罪者に対する介入の非無作為化実験のエビデンスのいずれかから推定することで医療実務は導かれていくだろう。

## 背景

このレビューのために、18歳時点で始まる重要な知能障害および社会的機能障害を持つ人のことを記述するのに、「学習障害 (learning disability)」という用語を使用する。これは、DSM IV (APA 1994) および ICD 10 (WHO 1992) の主要な分類において用いられている「精神遅滞 (mental retardation)」、や、「精神ハンディキャップ (mental handicap)」、「知的不能 (intellectual disability)」という言葉に対応するものである。

ほとんどの研究は、学習障害の犯罪者についての、性犯罪の発生率を調べていない。英国では、(Day 1994) が 47 人の学習障害の男性性犯罪者に対してサーベイを行っている。47 人の性犯罪者たちは、全部で 191 の性犯罪に関与しており、その内の 55% が異性に対する性犯罪、26% が公然わいせつ罪、12% が同性に対する性犯罪であった。加えて Day は、学習障害の性犯罪者たちは再犯率が高いことを報告している。(Howk 1993) は、学習障害ではない人よりも、学習障害の人の中で、性犯罪の発生率が約 2 倍高いことを報告している。Cooper は、性犯罪者の中に学習障害の人々が過度に出現していると論じている。彼は、一般集団における（知能機能のボーダーラインを含む）学習障害者の有病率が 9% であるのに対し、学習障害を持つ人間が、全性犯罪のうち 10% から 15% に関与していると述べている (Cooper 1995)。

さらに、犯罪発生率についてのほとんどの研究は、刑務所を母集団としてそこから得られたデータに依拠している。そのような数値は、訴追されずに病院に入れられた人間、弁護を不適当とされた人間、また犯罪行為が警察に報告されなかった人間といった、司法システムから漏れた人間を考慮にいれていない。Lyall, Holland and Collins (Lyall 1995) は、コミュニティの学習障害の成人ごとに、犯罪行動に対する司法システムのスタッフの態度および職務方針を調査した。そして、犯罪行動に対する寛容の水準が極めて高く、また窃盗および犯罪による損害はほとんど報告すらされていなかったことを明らかにした。彼らが訪問した 30 の施設の内、たった 3 つの施設のスタッフだけが、性的暴行あるいは公然わいせつが発生したときは常に報告してきたと述べている。したがって、学習障害の母集団における性犯罪の一時点発生率は、文献で報告されているよりも高そうである。

学習障害の性犯罪者は、学習障害のない犯罪者より、男性と女性のどちらの性に対する犯罪にも関与する傾向にあり、またその被害者を知らないことが多いという傾向を持つ (Murrey 1992)。性的に純真で、対人関係スキルが欠如し、そして衝動を調節する能力に乏しいことが、学習障害の性犯罪者の顕著な特徴である (Sellings 1939, Gebhard 1965)。

性犯罪者の取り扱いは、西欧社会において、これまで多くの公的な議論にのぼるテーマであり、最近の例ではベルギー (Guardian 2000b)、アメリカ合衆国のメーガン法 (New Jersey 1994)、イングランドのタブロイド新聞の見出し (News of the World, Guardian 2000a) がある。性犯罪者処遇プログラムの有効性への土台となるエビデンスがでてきている (McKenzie 1999, White

2001)。これらのプログラムは、往々にして平均以下の知能しかない人間を明確に除外している。

介入は以下のように分類することが可能である。

### 1. 薬理的介入

薬理的処遇には、抗リビドー薬（イングランドのシプロテロン酢酸塩やアメリカ合衆国のメドロキシプロゲステロン酢酸塩）、抗精神病薬（ベンペリドール）、そしてより最近使われるようになった選択的セロトニン再摂取抑制剤（Selective Serotonin Reuptake Inhibitors: SSRIs）がある。これらは性的衝動を減少させるために用いられる。

### 2. 心理的介入

行動的介入は、逸脱行動の頻度、強度、そして突出性を修正することを基本としており、逸脱的な性的行動や性的特性を修正するために反対条件づけや過剰矯正など、様々な方法を使用する。

認知行動療法（Cognitive behavioural therapy: CBT）は、鍵となる歪んだ思考パターンと寛容的な思考パターンを系統的に識別させることで、不適切な性的行動をコントロールする術（すべ）を性犯罪者に教える。歪んだ思考パターンと寛容的な思考パターンというのは、例えば最小化、正当化、標準化といったものがあり、性的に攻撃的な行動を支えることが分かっている。

学習障害のない性犯罪者に対する心理的処遇プログラムは、通常、認知行動療法である。そのプログラムでは、犯罪者が自身の行動について持っているであろう歪んだ認識に抵抗するための認識再構築法を採用している（Bremble 1999）。薬理的介入および行動的介入は、学習障害の集団に対して最も頻繁に用いられている。

学習障害の性犯罪者に対する認知的行動処遇は、最近発達したものであり、広範に利用可能ではない、あるいは標準化されていない。学習障害の人間は、限られた推理能力しかなく、適応能力・言語能力に乏しいという傾向がある。また、集中力に欠け、抽象的概念や不適切な行動についての理解力が低いだらう（Allam 1997）。ほとんどの認知行動的処遇プログラムは、こういった欠陥を埋めるために修正しなければならない。これには、作業を分解するというを含む。それは重要なポイントをより定期的に繰り返し、暗喩をあまり使用せず、そして再発防止戦略の開発に重要なスタッフをより多く関与させる。

学習障害の性犯罪者に対する上記の介入の効果についてはあまり知られていない。このレビューでは、学習障害の性犯罪者への介入が、将来の犯罪の可能性を減少させるかどうかを調べる。

## 目的

学習障害の性犯罪者の性的な行為・衝動・思考を減少させる際の、薬理的処遇（抗リビドー剤、向精神薬を含む）および心理的処遇の効果を評価すること。

## このレビューが対象とする研究の選択基準

### 研究のタイプ

関連する無作為化比較実験。

### 参加者のタイプ

性犯罪、あるいは性的に攻撃的な行動のために有罪判決を受けた者のうち、学習障害（IQ70未満と定義する）および学習障害のボーラードライン上にいる（IQ 70 以上 80 未満と定義）男性あるいは女性。18歳以上で、コミュニティ、病院あるいは刑務所で処遇を受けている者。

### 介入のタイプ

認知行動療法 — ここでは、認知行動療法を、グループでも個人でも、犯罪者に対して性的行動をコントロールするスキルを教えることに焦点を当てたアプローチと定義する。

行動療法 — ここでは、内潜在的（コバートな）反対条件づけのように、逸脱的性行動を行動の意味（したがって性的な罪を犯した）によって修正するものをさす。

薬理的処遇 — これは、性犯罪はホルモンの衝動の結果であり、そのため抗リビドー剤でテストステロン水準を減少することによって、統御できるという理論を反映している。一方で SSRI を使用する根拠は、行動に強迫的な部分があるということである。抗精神病薬の副作用の一つに、リビドー（性的欲求）を減少させることがある。そのため、性的関心を減少させるために処方されている。

全ての介入を、プラシーボあるいは「標準的なケア」と比較した。

### アウトカム尺度のタイプ

主たるアウトカム尺度は以下の通りである。

- a. 再犯
- b. 追跡できなかつた人々
- c. （逸脱的な性的興奮および犯罪肯定的な認識を測定する）精神測定得点

その他、調べられたアウトカムは以下のとおり。

- a. 死亡（自殺を含む全ての原因）；
- b. 他の性とは関係ない犯罪；

- c. 副作用；
- d. 配置の安全性水準

アウトカムを短期間（1年未満）、中期間（1-10年）、長期間（11年以上）で示すことが望まれる。

精神衛生および犯罪学的特性におけるアウトカムを測定するのに利用可能な評価スケールはたくさんある。これらのスケールは、質がまちまちで、その多くは妥当性をきちんと確認していない。測定道具は、信頼性（テストが何らかを効果的に測定している程度）および妥当性（テストが、測定しようと思っているものを測定している程度）を持つべきであるということが一般的に受け容れられている。ほとんどの科学雑誌は、測定道具を公表する前に信頼性も妥当性も査読者を満足させるよう証明すべきだと主張している。最低基準として、公表されていない評価スケールによるデータは除外する。加えて、評価スケールは（1）自己報告、あるいは（2）独立の評価者あるいは関係者によって全て行われるべきである。測定道具についてのより厳密な基準は、このレビューの今後の版に設けるつもりである。

## 研究を識別するための検索方法

1. 電子検索
2. 関連する文献の参照文献を検索
3. イングランドで抗リビドー薬物を販売している製薬会社（Schering と Pharmacia）と連絡をとる
4. 関連する研究の著者と連絡をとる

## レビューの方法

### 研究を識別するための検索方法

#### A. 電子検索

1. Silver Platter と以下の単語を用いて、Biological Abstracts (1980年1月 - 2000年9月)を検索した。
2. [(clin\* near trial\*) or (singl\* or doubl\* or trebl\* or tripl\*) near (blind\* or mask\*) or ((randomi\* or random\*) near (allocat\* or assign\*) or crossover)]  
and  
[(mental\* or intell\* or learning\* or cognitive\*) near2 (handi\* or retard\* or impair\* or

difficult\* or disab\*) or (subnormal) or (oligophreni\*) or (phenylketonuria) or (fragile\* or ((down or down's) near1 syndrome)]

and

[(sex offen\*) or (sex\* devia\*) or fetish\* or exhibition\* or masturbat\* or voyeur\* or paedophil\* or pedophil\* or child\* molest\* or (child\* sex\* abuse\*) or pederast\* or masoch\* or bondag\* or sadis\* or necrophil\* or or frotteur\* or necrophil\*]

3. 以下のフレーズを用いて The Cochrane Library (2001年, 論点1)を検索した。

(sex\* offen\*) or (sex\* abus\*) or (sex\* devian\*) or paedophil\* or pedohil\* or pederast\* or rap\* or fetish\* or exhibition\* or necrophil\* or masturbat\* or (child\* molest\*) or (child\* sex\* abus\*)

4. Ovid オンラインと以下の単語を用いて EMBASE (1980年 - 2000年12月)を検索した。

[exp clinical trial/ or ((singl? or doubl? or trebl? or tripl?) adj1 (blind? or mask?)).or (random? adj1 (allocat? or assign?)). or ("random?" adj1 ("allocation" or allocated or assign?)). or ( exp crossover procedure/ )1 (exp randomized controlled trial/ ) or (exp controlled study/ ) or (exp double blind procedure/ ) or (exp controlled study/ ) or (exp single blind procedure/ ) or (exp randomization/ )]

and

[(mental? or Learning or cognitive?) adj2 (retard? or handicap? or disab? or difficult? or impair?) or ("subnormal?") or (exp Learning disorder/ ) or (exp Mental deficiency/ ) or (exp intellectual impairment/ ) or (intellectual impairment)]

and

[exp sexual abuse/ ) or (exp sexual deviation/ ) or (sex? adj5 offen?) or (sex? adj5 offen?) or ("paraphilia?") or (exp sexual crime/ ) or ("sex offenses") or (sex? adj5 (crime? or assault? or molest?)) or (sex? adj5 abuse?) or (sex? adj5 inappropriate) or (incest?) or (exhibitionism) or (fetish?) or (masochis?) or (pedophil? or paedophil?) or (sadis?) or (pederast?) or (bondage?) or (frotteur?) or (necrophil?) or (voyeur?) or (masturbat?) or (pornograph?) or (child? adj5 molest?)]

5. Ovid オンラインと以下の単語を用いて MEDLINE (1966年 - 2000年12月)を検索した。

[(randomized controlled trial in pt) or (explode randomized-controlled-trials / all subheadings) or (explode random-allocation / all subheadings) or (explode double-blind-method / all subheadings) or (explode single-blind-method / all subheadings) or (explode clinical trial in pt or clinical-trials / all subheadings) or (clin?adj2 trial?) or ((singl? or doubl? or trebl? or tripl?) adj2 (blind? or mask?)) or((random? or randomi?) adj2 (allocate? or assign?)) or (controlled clinical trial in pt) or (crossover)]

and

[(explode learning-disorders / all subheadings) or (explode mental-retardation / all



subheadings) or (explode developmental disabilities / all subheadings) or ((mental\* or learning or cognitive?) adj2 (retard? or handicap? or disab? or difficult? or impair?)) or (oligophreni?) or (subnormal?) or ((fragile or down?) adj2 syndrome) or (phenylketonuri?)]

6. Silver Platter と以下の単語を用いて PsycINFO (1887年 - 2001年(02))を検索した。

[randomi\* or (singl\* or doubl\* or trebl\* or tripl\* near (blind\* or mask\*) or (clin\* near trial\*) or placebo\* or (placebo-in de) or crossover or (treatment-effectiveness-evaluation in de) or (mental-health-program-evaluation in de) or random\* near (assign\* or allocate\*)]

and

[(explode learning-disorders in de) or (explode mental-retardation in de) or (explode "developmental-disabilities") or oligophreni\* or (mental\* or learning or developmental or cognitiv\*) near2 (handi\* or disab\* or difficult\* or disorder\* or impair\*) or down\* near2 syndrome or fragile near2 syndrome or phenylketonuri\*]

and

[(explode "sex-offenses") or (explode "paraphilias") or (sex near2 offen\*) or (sex near2 devia\*) or fetish\* or exhibition\* or masturbat\* or voyeur\* or paedoph\* or pedophil\* or child\* near2 molest\* or (child\* near2 sex\* near2 abus\*) or pederast\* or sadis\* or masoch\* or bondag\* or frotteur\* or necrophil\*]

7. Silver Platter と以下の単語を用いて Cinahl (1982年 - 2000年12月)を検索した。

[(clin\* near trial\*) or ((singl\* or doubl\* or tripl\* or trebl\*) and (mask\* or blind\*)) or ((random\* near (allocate\* or assign\*)) or ("random-assignment"/ all topical subheadings / all age subheadings) or (explode "clinical-trials"/ all topical subheadings / all age subheadings) or (explode "meta-analysis"/ all topical subheadings / all age subheadings)]

and

[(explode learning-disorders in / all topical subheadings / all age subheadings in de) or (explode mental-retardation / all topical subheadings / all age subheadings in de) or (explode "developmental-disabilities"/ all topical subheadings / all age subheadings) or ((mental\* or learning or developmental or cognitiv\*) near2 (handi\* or disab\* or difficult\* or disorder\* or impair\*)) or oligophreni\* or (down\* near2 syndrome) or (fragile near2 syndrome) or phenylketonuri\*]

and

[(explode paraphilias/ all topical subheadings / all age subheadings) or (explode "sex-offenders"/ all topical subheadings / all age subheadings( or (explode "sexual-abuse"/ all topical subheadings / all age subheadings) or (sex\* near2 offen\*) or (sex\* near2 devia\*) or (sex\* near2 crim\*) or (sex near2 (perver\* or inappropriate\*)) or (child\* near2 molest\*) or incest\* or exhibition\* or fetish\* or masochis\* or pedophil\* or paedophil\* or masturbat\* or bondag\* or frotteur\* or necrophil\*]

## 8. その他のデータベース

以下の単語を用いて、Adams and Cure (Adams 2000)によって編集されたデータベースおよびSPECTR を検索した。

((mental\* or learning or developmental or cognitiv\*) near2 (handi\* or disab\* or difficult\* or disorder\* or impair\*)) and (sex\*)

アメリカの2つのデータベース、National Clearinghouse on Child Abuse and Neglect Information と National Criminal Justice Reference Service を、精神遅滞という単語を使用してオンライン検索した。

## B. 参考文献リスト

選択された文献の全参考文献を、さらに関連する実験を探すために検索した。

## C. 研究著者

レビューワは、データを明らかにする必要があるときには研究の著者に連絡し、可能なだけの追加情報を要請した。

## D. 製薬会社

レビューワは、出版されていないデータおよび実験を要請するために、イングランドでシプロテロン酢酸およびメドロキシプロゲステロンをそれぞれ販売している製薬会社 Schering HC と Pharmacia Ltd に連絡した。

## レビューの方法

### 1. 研究の選択

2人のレビューワ(LD, LA)は別々に、識別した研究のリポートを全て点検した。通常、二人に食い違いがでて、合意することで解決できた。それでも完全な文献を得られたかどうかの疑問は残った。レビューワは、それらの文献がレビューする基準に合致するかどうかを別々に判断した。著者の名前、組織、出版雑誌を隠すことはしなかった。

### 2. 方法論的の質の評価

レビューワ(LD, LA)は、コクラン・コラボレーション・ハンドブック(Cochrane Collaboration Handbook; (Clarke 2001))で記されているように、各実験にA - 妥当な隠蔽、B - 隠蔽が不透明、C - 適切でない隠蔽、という3つの質的カテゴリーを割り当てた。カテゴリーAおよびBにあたる実験だけをレビューに含めるために、この割り当ての判断は、プロトコルの段階で行われた。

### 3. 出版によって生じるバイアスへの対処

選んだ全ての実験のデータをじょうごグラフ（funnel graph；テストサイズに対するテスト効果を見る）に投入し、顕在的な出版バイアスの見込みを調べた（Egger 1997）。

#### 4. データを得る

レビューワが、別々にデータを得て、何らかの不一致があったら議論することで解決するようにした。もし解決できなければ、実験の著者から追加的な情報を得ようとした。

#### 5. データの統合

アウトカムが与えられ、無作為化によって割り付けられた全被験者の内の 50%以上が説明されなかった場合、そのようなデータを厳然と解釈することは不可能であるとして、結果を示すべきではないと判断した。しかし、研究の一方の群の中で 50%以上を欠損していても、全被験者中の欠損が 50%未満であれば、データを示し、結果は偏りがちだろうということを示すために、アスタリスク「\*」を付与した。

##### 5.1 分析を扱う意図

レビューワは、治療の意図（intention-to-treat）を基礎とするデータを分析しようとした。その際、実行可能で、かつ説明されなかった処遇は、有力なアウトカムをあまり持たないと仮定する。我々はこの仮定を、感度分析によって検証した。連続データに対しては、この方法でデータを扱うのは不可能であるため、可能であれば連続得点を二分データに変換し、「より完全な」データでは二値データを示している。

##### 5.2 二値データ

このレビューの版において、我々は、利用可能なデータを一つも識別しなかった。それでも、将来、データが識別されたら、二値データを分析するつもりである。そこでは、相対リスク（relative risk: RR）統計量とその 95%信頼区間（confidence interval: CI）を算出し、ランダム効果モデルを使用するつもりである。加えて有効性の尺度として、プールした被験者総数から、治療必要例数（number needed to treat: NNT）あるいは危害必要例数（number needed to harm: NNH）を推定するつもりである。

##### 5.3 連続データ

連続データは、同じアウトカムを評価する別のスケールによって示されるだろう。その際、レビューワは、要約せずに全てのデータを提示し、効果の全体的な方向性を検査した。

連続尺度のアウトカム・データは、たびたび歪むため、平均が分布の中心ではなくなる。メタ・アナリシスによって得られる統計量は、歪みにうまく対処できることもあると考えられているが、ノン・パラメトリック・データに対しては定式化できない。この潜在する危険性を避けるため、データを分析に加えるまえに、以下の基準を全データに適用した。(i) 標準偏差および平均は著者によって報告された、あるいは得られた、(ii) エンドポイント・スケール・データのような有

限のデータに対し、標準偏差（standard deviation: SD）に2を掛けると平均より小さくなる。そうしないと、平均は分布の中心性を示す尺度として妥当なものとはなりにくい(Altman 1996)。レビューは、「その他のデータ」の表において、(i) あるいは (ii) の基準に合致しないデータを報告した。

変化データ（“エンドポイント” – [引く] “ベースライン”）では、さらに問題が多くなる。個々の患者のデータがない場合、データが歪んでいるか、あるいは歪んでいそうかどうかさえ知ることができない。ALLSTAT 電子統計メーリング・リストに相談した後、レビューは利用可能な情報を要約する目的で、Meta View の中の変化データを示した。こうする際には、データが歪んでいないこと、あるいはその分析によって、未知の歪度にうまく対処することができる、ということのいずれかを仮定する。個々の患者についてのデータがなければ、この仮定を検証することはできない。変化データとエンド・ポイント・データの両方が、同じアウトカム・カテゴリーで利用可能な場合は、エンド・ポイント・データのみを示した。

可能であれば、次の方法でデータを記した。効果なしということを示す線の左側の部分が、処遇についての望ましいアウトカムであることを示す方法である。

## 6. 異質性の検定

実験結果の間の相違を検証するため、グラフ表示を調べ、異質性を検定するカイ二乗検定を用いた（限界値、 $p > 0.1$ ）。

## 研究の記述

「含まれた研究、および除外された研究」表をごらんください。

研究は、さまざまな理由により除外されている。無作為化されていないため、参加者が学習障害であるとも、性的に攻撃的な行動であるとも診断されなかったという理由が多い。研究に含める基準に合致するかに見えた一つの無作為化比較実験を見つけたが (Cooper 1992)、知能機能がボーダーライン上にある1人の参加者について、比較群がなかったため、その実験を除外した。

## レビューに含めた研究の方法論的な質

包含基準を満たす無作為化比較実験は一つも見出せなかった。

## 結果

包含基準を満たす無作為化比較実験は一つも見出せなかった。

## 討論

学習障害の性犯罪者に対する何らかの介入の有効性あるいは無効性について、無作為化比較実験に基づくエビデンスを一つも見出せなかった。

## レビューの結論

### 実務への示唆

#### 臨床医

刑事司法および精神衛生のいずれの立場の専門家も、学習障害の性犯罪者の再犯を減少させる処遇を提供することが期待さ（そして、しばしば命じら）れている。現在のところ彼ら専門家たちは、無作為化比較実験のエビデンスに基づいて介入を選択することはできない。今後よりよいエビデンスが用意されるまで、臨床医は、臨床経験や、学習障害を持たない集団について得られたエビデンスに基づいて実務を続けなければならない。法廷、ケアを受ける者、およびケアする側の人間は、介入を受ける際の根拠を知らされるべきである。

#### 刑事司法機関、ケアを受ける者、またはケアをする側の人間

現在、刑事司法機関、ケアを受ける者、およびケアする側の人間は、それぞれの介入が、性犯罪者のうち、学習障害でない集団に関するデータに基づいて使用されているということを知るべきである。

### 研究へのインプリケーション

レビューに含めた実験が不足しているのは、非常に厳格な包含基準のためであるとは感じられなかった。むしろ使いものになる材料が本当に欠乏していることを反映している。本レビューは、学習障害の性犯罪者に対する介入の無作為比較実験が欠如していることを強調した。

実験の際、しばしば学習障害者の集団を除外している。ボーダーライン上の知的機能しかない人間を含めているただ一つの研究では、その人間について得られたアウトカムを、知能機能に関して分析されなかった結果であると言うことはできない。

学習障害の性犯罪者に対する介入の有効性についての無作為化比較実験が急務である。

## 除外された研究の特徴

研究 ID	除外理由
<b>Bancroft 1974</b>	割り当て：非・無作為化 参加者：男性の有志の入院患者，Broadmoor Hospital（高度に安全），性犯罪者。学習障害だという証拠は何もない。 介入：処遇なし，エチニル・エストラジオール，シプロテロン酢酸。
<b>Brown 1996</b>	割り当て：無作為にわれ当てられているが，それ以上は書かれていない。 参加者：12人の外来患者，男性，子供に対する性犯罪者と認識された成人。精神遅滞の患者はいなかった。 介入：自発的なマスターベーションの禁欲
<b>Cooper 1981</b>	割り当て：無作為化だが，それ以上は書かれていない。 参加者：性行動過剰な，両性の犯罪者および非犯罪者。外来患者。いずれも学習障害であるという証拠はない。 介入：シプロテロン酢酸，プラシーボ，処遇なし，クロスオーバー法。
<b>Cooper 1992</b>	割り当て：準無作為化，ダブル・ブラインド法，クロスオーバー法。 参加者：7人の男性，小児性愛者，カナディアン州精神病院への入院患者。1人の患者だけがボーダーラインのIQを持っていたと記されているため，比較実験ではない。
<b>Cooper 1995</b>	割り当て：非・無作為化，レビュー
<b>Langevin 1979</b>	割り当て：3回の無作為化比較実験。 参加者：有罪判決を受けた男性，露出症（exhibitionists）。学習障害の証拠はない。 介入：プロベラ（provera）セラピストの性，アサーション・トレーニング。
<b>Lindsay 1998</b>	割り当て：非・無作為化，6ケースの報告。 参加者：子供に対する性犯罪の有罪判決を受け，保護観察下にある発達障害の6人の男性。 介入：グループ認知行動療法
<b>Marques 1994</b>	割り当て：無作為化比較実験。だがそれ以上は書かれていない。 参加者：カリフォルニア矯正局（California Department of Corrections）に拘禁されている男性の性犯罪者。共犯者，あるいは血の繋がった子供のみに対する性犯罪（近親相姦）による被収容者は除外された。IQが80以上の，釈放から18-21ヶ月の18歳から60歳，前科の重罪判決が3度以上ない，犯罪を行ったことを認める，係争中ではないあるいは重罪の令状を持たない，英語を話すことができる，精神的あるいは器質性精神状態ではない，医学的に虚弱ではない，また拘禁中深刻な治療技術問題を示さなかった者を含めた。

- 介入：グループ・セラピーにおける再発防止。
- McConaghy 1988** 割り当て：無作為化だが、それ以上の詳細は不明。  
参加者：異常な性衝動および性行動 (DSM-III), 1：性的錯綜 (n=22), 2：性的錯綜 (n=8) を持つ成人男性。2'「正常以下の知性 (sub normal intelligence)」。  
介入：メドロキシプロゲステロン酢酸塩あるいは心像の脱感作, あるいは両方。処遇に失敗した人には、代替りの1つの処遇が与えられ, 二重処遇に最初に反応しなかった被験者には代替りの治療法が与えられた。
- Murray 1979** 割り当て：非・無作為化  
参加者：男性の有志の入院患者, Broadmoor Hospital (高度に安全), 性犯罪者。学習障害の証拠はない。  
介入：無処遇, エチニル・エストラジオール, シプロテロン酢酸, ベンペリドル, クロプロマジン, プラシーボ。
- O'Connor 1996** 割り当て：非・無作為化, ケース・シリーズ法。  
参加者：13人の男性, 17歳から43歳までの平均年齢28歳。軽い学習障害。性犯罪で告発された。  
介入：問題解決法 (problem-solving)
- Plaud 2000** 割り当て：非・無作為化, レビュー。
- Rooth 1974** 割り当て：無作為化, ラテン方陣デザイン。  
参加者：露出性者, 外来患者, 非収容者。標準的知能。  
介入：嫌忌療法 (aversion therapy), 自己調整, リラクゼーション。
- Sherak 2000** 割り当て：非・無作為化, レビュー。
- Tennent 1974** 割り当て：非・無作為化。  
参加者：男性の有志の入院患者, Broadmoor Hospital (高度に安全), 性犯罪者。学習障害の証拠はない。  
介入：無処遇, ベンペリドル, クロプロマジン, プラシーボ。
- Thibaut 1996** 割り当て：ホルモン作用物質を開放するゴナドトロピンホルモンで処遇されている性欲倒錯症の6ケース報告。  
参加者：3人の参加者が精神遅滞であった。
- Zohar 1994** 割り当て：ケース報告。  
参加者：公衆の場において女性の前でマスターベーションをした, 標準的知性を持つ男性。  
介入：フルボキサミン, デシンプラミン, シングル・ブラインドの状況でのプラシーボ。



## 研究への引用

### 除外された研究

**Bancroft 1974** {出版データのみ}

\*Bancroft J, Tennant G, Loucas K, Cass J. The control of deviant sexual behaviour by drugs: 1. Behavioural changes following oestrogens and anti-androgens. *British Journal of Psychiatry* 1974;125:310-5.

**Brown 1996** {出版データのみ}

Brown CM, Traverso G, Fedoroff JP. Masturbation prohibition in sex offenders: a crossover study. *Archives of Sexual Behavior* 1996;25(4):397-408

**Cooper 1981** {出版データのみ}

Cooper AJ. A placebo-controlled trial of the antiandrogen cyproterone acetate in deviant hypersexuality. *Comprehensive Psychiatry* 1981;22(5):458-65.

**Cooper 1992** {出版データのみ}

Cooper AJ, Saudhu S, Losztyn S, Cernovsky Z. A double-blind placebo controlled trial of medroxyprogesterone acetate and cyproterone acetate with seven pedophiles. *Canadian Journal of Psychiatry* 1992;37:687-93.

**Cooper 1995** {出版データのみ}

Cooper AJ. Review of the role of two antilibidinal drugs in the treatment of sex offenders with mental retardation. *Mental Retardation* 1995;33(1):42-8.

**Langevin 1979** {出版データのみ}

Langevin R, Paitich D, Hucker S, Newman S, Ramsay G, Pope S, Geller G, Anderson C. The effect of assertiveness training, provera and sex of therapist in the treatment of genital exhibitionism. *Journal of Behavioral Therapy and Experimental Psychiatry* 1979;10:275-82.

**Lindsay 1998** {出版データのみ}

Lindsay WR, Neilson CQ, Morrison F, Smith HW. The treatment of six men with a learning disability convicted of sex offences against children. *British Journal of Clinical Psychology* 1998;37:83-98.

**Marques 1994** {出版データのみ}

\*Marques J, Nelson C, West MA, Day D. The relationship between treatment goals and recidivism among child molester. *Behavioral Research Therapy* 1994;32(5):577-88.

Marques JK, Day D, Nelson C, West AM. Effects of cognitive-behavioral treatment on sex offender recidivism preliminary results of a longitudinal study. *Criminal Justice and Behavior* 1994;21(1):28-54.

Marques JK. The sex offender treatment and evaluation project: California's new outcome study. *Annals of the New York Academy of Sciences* 1988;528:235-43.

**McConaghy 1988** {出版データのみ}

\*McConaghy N, Blaszczynski A, Kidson W. Treatment of sex offenders with imaginal desensitization and/or medroxyprogesterone. *Acta Psychiatrica Scandinavica* 1988;77:199-206.

**Murray 1979** {出版データのみ}

Murray MAF, Bancroft JHJ, Anderson DC, Tennent TG, Carr PJ. Endocrine changes in male sexual deviants after treatment with anti-androgens, oestrogens or tranquillizers. *Journal of Endocrinology* 1979;67:179-88.

**O'Connor 1996** {出版データのみ}

O'Connor W. A problem solving intervention for sex offenders with an intellectual disability. *Journal of Intellectual and Developmental Disability* 1996;21(3):219-35.

**Plaud 2000** {出版データのみ}

Plaud JJ, Plaud DM, Kolstoe PD, Orvedal L. Behavioral treatment of sexually offending behavior. *Mental Health Aspects of Developmental Disabilities* 2000;3(2):227-48.

**Rooth 1974** {出版データのみ}

Rooth FG, Marks IM. Persistent exhibitionism: short-term response to aversion, self-regulation, and relaxation treatments. *Archives of Sexual Behavior* 1974;3(3):227-48.

**Sherak 2000** {出版データのみ}

Sherak DL. Pharmacological treatment of sexually offending behavior in people with mental retardation/developmental disabilities. *Mental Health Aspects of Developmental Disabilities* 2000;3(2):62-74.

**Tennent 1974** {出版データのみ}

Tennent G, Bancroft J, Cass J. The control of deviant sexual behavior by drugs: a double-blind controlled study of benperidol, chlorpromazine, and placebo. *Archives of Sexual Behavior* 1974;3(3):261-71.

**Thibaut 1996** {出版データのみ}

Thibaut F, Cordier B, Kuhn JM. Gonadotrophin hormone releasing hormone agonist in cases of severe paraphilia: a lifetime treatment? *Psychoneuroendocrinology* 1996;21(4):411-9.

**Zohar 1994** {出版データのみ}

Zohar J, Kaplan Z, Benjamin J. Compulsive exhibitionism successfully treated with fluvoxamine: a controlled case study. *Journal of Clinical Psychiatry* 1994;55(3):86-8.

“\*”は当該研究の主たる引用文献を示す。

## その他の引用文献

### 追加的引用文献

#### **Adams 2000**

Adams CE, Cure S. Creating and disseminating a clearly classified register of controlled clinical trials relevant to offenders and systematically reviewing aspects of treatment relevant to those with dual diagnosis of serious mental illness and violence. Final report for the NHS National R&D Programme for Forensic Mental Health 2000.

#### **Allam 1997**

Allam J, Middleton D, Browne K. Different clients, different needs? Practice issues in community-based treatment for sex offenders. *Criminal Behaviour and Mental Health* 1997;7:69-84.

#### **Altman 1996**

Altman DG, Bland JM. Detecting skewness from summary information. *BMJ* 1996;313:1200.

#### **APA 1994**

American Psychiatric Association. *Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders (DSM-IV)*. Vol.4<sup>th</sup>. Washington DC: American Psychiatric Association, 1994.

#### **Bremble 1999**

Bremble A, Rose J. Psychological intervention for adults with learning disabilities accused of sexual offending. *Clinical Psychology Forum* 1999;131:24-30.

#### **Clarke 2001**

Clarke M, Oxman AD, editors. Approaches to summarizing the validity of studies. 6.7.1 Cochrane Reviewers Handbook. In: *The Cochrane Library*, Issue 2, March 2001. Oxford: Update Software.

#### **Cooper 1995**

Cooper A. Review of the role of two antilibidinal drugs in the treatment of sex offenders with mental retardation. *Mental Retardation* 1995;33(1):42-8.

#### **Day 1994**

Day K. Male mentally handicapped sex offenders. *British Journal of Psychiatry* 1994;165:630-9.

#### **Egger 1997**

Egger M, Davey-Smith G, Schneider M, Minder CSO. Bias in meta-analysis detected by a simple, graphical test. *BMJ* 1997;13:629-34.

#### **Gebhard 1965**

Gebhard P, Gagnon J, Pomeroy W. *Sex Offenders: an analysis of types*. London:

Heinemann, 1965.

**Guardian 2000a**

Jeffery S, Vasagar J, Glove J. Paedophile pretests. Guardian August 10, 2000.

**Guardian 2000b**

Allison R. Belgian judge forbids naming campaign. Gurdian August 10,2000.

**Hawk 1993**

Hawk G, Rosenfield B, Warren J. Prevalence of sexual offenses among mentally retarded criminal defendants. Hospital and Community Psychiatry 1993;44(8):784-6.

**Lyll 1995**

Lyll I, Holland A, Collins S. Offending by adults with learning disabilities and the attitudes of staff to offending behaviour: implications for service development. Journal of Intellectual Disability Research 1995;39(6):501-8.

**McKenzie 1999**

MacKenzie DL, Hickman LJ. What works in corrections? An examination of the effectiveness of the type of rehabilitation program offered by Washington State Department of Corrections. <http://www.bsos.umd.edu/ccjs/corrections1999>.

**Murrey 1992**

Murray G, Briggs D, Davis M. Psychopathic disordered, mentally ill, and mentally handicapped sex offenders: a comparative study. Medicine Science and the Law 1992;32(4):331-6.

**New Jersey 1994**

Megan's Law. [www.state.nj.us/lps/dcj/megan1994](http://www.state.nj.us/lps/dcj/megan1994).

**News of the World**

Name and Shame. News of the World 23 July 2000.

**Sellings 1939**

Sellings L. Types of behaviour manifested by feebleminded sex offenders. In: Proceedings from the American Action on Mental Deficiency. Vol. 44. 1939:178-86.

**White 2001**

White P, Bradley C, Ferriter M, Hatzipetrou L. Managements for people with disorders of sexual preference and for convicted sexual offenders. In: The Cochrane Library, Issue 4, 2001. Oxford: Update Software.

**WHO 1992**

World Health Organisation. International Classification of Disease and related disorders (ICD-10). Geneva: World Health Organisation, 1992.

## ノート

出版されていない CRG ノート

出版されたノート

修正されたセクション

何も選択されていない。

## 共同レビューワとのコンタクト

Lorna Duggan 博士

Consultant Forensic Psychiatrist

Developmental Disabilities Division

St Andrew's Hospital

Billing Rd

Northampton

Northamptonshire UK

NN1 5DG

電話 : +44 1604 616313

ファックス : +44 1604 616620

E メール : lornaduggan@yahoo.co.uk